

平成 30 年度シラバス

教 科	科 目	単位数	履修学年・クラス
福 祉	介護福祉基礎	4	3-1

1. 学習の到達目標

- ・高齢者や障がいのある人々の誰もが人として尊敬され、社会の一員として幸せな生活を築いていけるような援助学年集会できる人になれるよう、また、社会状況の変化に対応できる専門職として自覚させる
- ・コミュニケーションの意義・目的・役割からコミュニケーションの基本技術学習を通して、人間関係づくりを理解させる
- ・介護福祉基礎の授業を通して生徒の人権意識を高めるようにつとめる
- ・介護者像を理解させ、高齢者・障がい者の自立を支援させる目標で介護技術を通して信頼関係を築かせる

2. 学習の計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	介護におけるコミュニケーション技術 ①介護におけるコミュニケーション ②介護におけるチームコミュニケーション 中間テスト 老化の理解 ①老化に伴うこころとからだの変化と日常生活 期末テスト ②高齢者と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者や家族、さまざまな障がいのある人とのコミュニケーションの実際について学習して、コミュニケーション能力を高め、人間関係づくりに役立てられるように理解する ・老化により高齢者のこころとからだがどのように変化しどのような状態になるか理解する ・高齢者に多い疾患や生活習慣病などについて学習し日常生活における生活支援の留意点を理解する
2 学 期	認知症の理解 中間テスト ①認知症を取り巻く状況 ②医学的側面からみた認知症の基礎と健康管理 ③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 ④家族への支援 期末テスト 障がいの理解 ①障がいの基礎知識 ②障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、関わり支援等の基礎的知識 ③家族の心理、関わり支援の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・QOLの考え方、ノーマライゼーション、虐待防止・身体の拘束禁止、個人の権利を守る制度について理解する ・残された能力や意欲に着目して、その人の生きてきた歴史に関わってく姿勢を学ぶ ・介護の意味・目的など介護職員としてのあり方を理解し、自らの意識づけ、日々の学習に対する姿勢を確立する ・介護者の思いを理解し、介護職員としてどのように支えていけばよいのかを理解する ・障がいの概念、障がい者を支える制度や仕組み、法律について理解する ・障がい者を正しく理解し介護の基本的姿勢を理解する ・障害者（児）だけでなく家族に寄り添う事の重要性を理解する
3 学 期	睡眠に関連した心と体のしくみと自立に向けた介護 死に行くこころとからだのしくみと終末期介護 振り返り学習 卒業テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・睡眠のメカニズムから、心地よい睡眠確保の支援方法を理解する ・死にいたる過程、死を迎える高齢者と家族の心理と支援の方法を理解する

3. 評価方法・評価の観点

評価方法	考査、提出物、授業態度等による			
評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の内容	看護・介護に関する諸問題について関心を持ち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	介護業務に関する諸問題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。	介護の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、実際の仕事を合理的に計画し、適切に処理するとともに、その成果を的確に表現する。	介護の各分野に関する基本的・基本的な知識を身に付け、看護・介護に携わる者の意義や役割を理解している。

4. 使用教科書・副教材

使用教科書	介護職員初任者研修課程テキスト（日本医療企画）	介護福祉基礎(実務出版)
副教材	実習で使える看護技術(インターメディカ)	